

Masahiro Mori

2009年10月31日(土) — 11月23日(日)

入場料: 無料 九州陶磁文化館 第1、第2、第3展示室
開館時間: 9時~17時/月曜休館(11月23日は開館)



文化庁「地域文化芸術振興プラン推進事業」

森正洋の全仕事展

日常食器の豊かさを求めて

主催: 文化庁/佐賀県地域文化芸術振興プラン実行委員会/森正洋の全仕事展実行委員会

共催: 佐賀県立九州陶磁文化館 協賛: 九州電力 佐賀支店/大正屋 特別協力: 有田工業高等学校同窓会有工会

協力: (財)日本産業デザイン振興会/良品計画/山加商店/電塾九州/佐賀大学文化教育学部 中村隆敏研究室

Arita Media Project/yHa 後援: 佐賀県/佐賀県教育委員会/有田町/有田町教育委員会/嬉野市/有田工業高等学校
JR九州/NHK佐賀放送局/STSサガテレビ/朝日新聞社/佐賀新聞社/西日本新聞社/毎日新聞社/読売新聞佐賀支局

●トークショーのご案内

11月14日(土)14:00~「世界の中の森正洋」

榮久庵憲司氏(デザイナー・GKデザイン機構会長)

石山修武氏(建築家・早稲田大学教授)

筒井ガンコ堂(エッセイスト)

11月21日(土)14:00~「森正洋とやきもの」

十四代 今泉今右衛門氏(陶芸家)

田中右紀氏(陶芸/造形作家・佐賀大学准教授)

宇治 章氏(佐賀県立九州陶磁文化館学芸員)



佐賀県立九州陶磁文化館

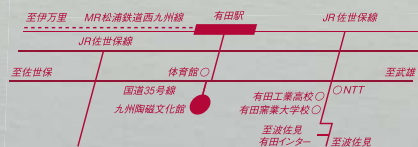
〒844-8585 佐賀県西松浦郡有田町戸乙3100-1

TEL.0955-43-3681 / FAX.0955-43-3324

http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/kanko_bunka/k_shisetsu/kyuto/

● JR佐世保線有田駅、MR(松浦鉄道)西九州線有田駅下車 徒歩約10分

● 西九州道 波佐見・有田インターから 車で約10分



お問い合わせ 森正洋の全仕事展実行委員会(合同会社 森正洋デザイン研究所内)

〒843-0302 佐賀県嬉野市嬉野町下野丙1686番地 TEL.0954-43-2095 / FAX.0954-43-2096

E-Mail. info@morimasahiro-ds.org URL. <http://exhibit.morimasahiro-ds.org/>



Masa
Sahi
ro
Mo
ri

この展覧会は、佐賀県に生まれ、佐賀県に腰を据え、ほぼ半世紀にわたって一途に「日常食器の豊かさ」を追求し、その成果が国内のみならず国際的にも高く評価された陶磁器デザイナー・森正洋の全貌を紹介することを目的としたものです。森正洋が目指したのは、人びとの日常生活に潤いを与える食器でした。そのためには合理的で使いやすく、かつ美しくなければなりません。さらに大事なことは適価であるということです。工場による大量生産でそれを可能にしたのです。本展はGマークを受賞した約100点の作品や国内外で数々

の賞に輝いた諸作品をはじめ、晩年の試作品を含めて2000点余の作品を中心に、卓抜な発想の元となった夥しい数のスケッチ帳、ノート類など、未公開の資料もあわせて展示する、画期的な大回顧展となっております。「産業陶磁」の革新に腐心した森正洋が常に案じていたのは肥前陶業園の「明日」でした。その意味でも、その中心地である有田でこの展覧会を開催する意義があると考えております。このまたとない機会により多くの方にご覧いただきたいと思っております。

森正洋の全仕事展

日常食器の豊かさを求めて

■ 展示内容
多摩造形芸術専門学校(現:多摩美術大学)時代の作品から晩年の無印良品/和の食器まで約2000点を展示。「味わう」「憩う」など用途ごとに並べることで、時代の生活実感を造形にしていた森正洋の歩みを展観する。

後期の代表作「平めし茶碗=1992年」は試作品をあわせ約700点を展示。色彩鮮やかな森正洋の世界を堪能できる。

また、長崎県波佐見町に心血を注いでデザインした「やきもの公園」の陶壁「陶磁の路」を高精細画像でデジタル化。50メートルの大陶壁を最新の技術を使用してモニター上に再現する。

■ 特別展示
森正洋の器によるテーブルセッティング
田中ゆかり氏(テーブルコーディネーター)



平めし茶碗 (1992)



ファンシーカップ (1969)



無印良品・和の食器 / 塩・胡椒・薬味入れ (2004)



白磁千段 / 皿 (1971)



緑錦、線尻須ボウル (1958)



森正洋の全仕事展を記念し
作品集を出版しました。
併せてご覧ください

「森正洋の全仕事」

森正洋デザイン研究所 編

ランダムハウス講談社
B5判 / 2,381円【税別】



森正洋 略歴

- | | | | |
|-----------|-----------------------------|-----------|------------------------------------|
| 1927 | 佐賀県藤津郡塩田町(現:嬉野市塩田町)に生れる | 1983 | スペイン・バレンシア 第13回国際工業デザイン展 陶芸部門グランプリ |
| 1941-1945 | 佐賀県立有田工業学校図案科 | 1985-1993 | 愛知県立芸術大学教授 |
| 1946-1947 | 陶芸家・松本佩山氏に師事 | 1985 | 佐賀県立有田窯業大学校講師 |
| 1948-1952 | 多摩造形芸術専門学校(現:多摩美術大学)工芸図案科 | 1992 | フィンランド・ヘルシンキ芸術工科大学レクチャー |
| 1949-1951 | 商工省工芸指導所第二設計室研究生 | 1989-1996 | やきもの公園(長崎県波佐見町) |
| 1954-1956 | 長崎県窯業指導所デザイン室 | 1998 | 「森正洋陶磁デザイン展」(愛知県陶磁資料館) |
| 1956-1978 | 白山陶器 | | 「プロダクトデザイナー 森正洋展」(長崎県立美術館) |
| 1960 | 第1回グッドデザイン賞 | 1999 | 日本陶磁協会賞金賞 |
| 1960 | 〈G型しょうゆさし〉グッド・デザイン選定 | 2000 | 「森正洋 日本の現代磁器デザイン展」(ドイツ磁器博物館・ハレ美術館) |
| 1965-2005 | 日本デザインコミッティ委員 | 2002 | 「森正洋 陶磁器デザインの革新展」(東京国立近代美術館) |
| 1971 | 第1回大倉和親記念財団表彰 | 2004 | 勝見勝賞 |
| 1974 | 第1回国井喜太郎産業工芸賞 | 2005 | 死去 |
| 1974-1982 | 九州産業大学芸術学部教授 | | |
| 1975 | 第20回毎日産業デザイン賞 | | |
| 1975 | イタリア・フェンツァ国際陶芸展インダストリアル部門金賞 | | |
| 1976-1995 | 毎日デザイン賞選考委員 | | |
| 1977 | スペイン・バレンシア国際工業デザイン展陶芸部門金賞 | | |
| 1979-2005 | 国際陶芸アカデミー会員 | | |

● Gマーク認定 112点 / Gマーク・ロングライフ賞 30点